

平成26年度 自己評価・学校関係者評価表

学校番号	88	学校名	浜松工業高等学校	記載者	白畑 豊
------	----	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	SSH（スーパーサイエンスハイスクール）を強力に推進する。	SSH事業の取組の成果を効果的に情報発信するとともに、事前指導や事後指導を実施するなど効果的なSSH特別講演会を実施する。	A	A	研究発表や成果報告書を見た限りでは、研究成果はSSH指定校に相応しい2年間だったと思われる。数学を応用した内容を含めるなどして、さらに浜工生らしいレベルの高い研究発表を望む。
イ	基礎基本の定着を図るとともに、知的好奇心の育成を図る。	不振者への授業の出欠管理を行うとともに、課題提出指導を徹底する。	B	B	課題の提出については、入学当初から習慣付けさせて欲しい。学習に遅れがちな生徒への放課後等での指導を充実させて欲しい。
		学校図書室の有効活用を図る。	B	B	具体的な方策を示す必要がある。
ウ	生徒会を中心に生徒主体の活動を拡大する。	生徒主体の奉仕活動等の直接的な体験活動の充実を図る。	A	B	地域の防災活動、祭典、奉仕活動等への参加が少ないように思われる。学校全体での働きかけをして欲しい。
		100周年記念事業の検討において生徒会にも参画させる。	B	B	学校に対しての誇りと生徒に自信を持たせる良い機会であるため、目標を具体化して生徒に伝えて欲しい。
エ	学校ホームページを有効活用し、効果的な広報活動を実施する。	ホームページへの記事を毎日掲載する。	A	A	学校の様子が良く分かり大変参考になる。
オ	進路課と連携した各学年の緻密な生き方指導の計画を策定する。	進路シラバスに基づき、個々の生徒の進路希望状況に応じた進路指導を行う。	B	B	HR活動や進路指導の成果として、生徒や保護者の満足感が伺える。生徒自身の目標を早期に決定し、目標に向かわせることが重要である。
カ	基本的な生活習慣を保証するための安全かつ安心な学校づくりを推進する。	毎月の自転車街頭指導の場所を拡大し、危険個所での指導を徹底する。	B	B	地域で浜工生を見る限りでは、交通安全に気を付けている姿勢が感じられる。安全に対して生徒自身が考える力を身につけさせて欲しい。
		不測の事態に対応できるよう防災体制を整える。	A	A	各地区で行われる防災訓練に積極的に参加するように働きかけが必要である。教職員を対象にした研修を充実させて欲しい。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
		生徒に対する健康と環境衛生への高い意識を涵養するための情報発信を行う。	B	B	食生活を大切にする食育指導が計画的に行われているように思われる。 情報が不足していて判断が困難である。
		心の健康問題にかかる重大なケースについてはスクールカウンセラーを活用する。	A	A	スクールカウンセラーを2名配置するなど、学校側の特別支援に対する配慮や教育相談の充実に向けての組織づくりが伺える。
キ	本校の教育活動が円滑に展開できるよう環境整備を図る。	情報ネットワーク環境を維持管理する。	A	A	情報管理のプロの教員が多くいるため万全であると思われる。
		生徒が利用しやすい食堂・購買の整備を行う。	B	B	完全給食ということで、給食がない学校がほとんどの中で、生徒・保護者は恵まれているように思われる。
		優先順位に基づいた学校の施設の整備を図る。	B	B	機械や電気設備等は概ね充実していると思われる。耐震工事はされているが、校舎の老朽化が激しいため何とかして欲しい。
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法を確立する。	授業公開、生徒による授業アンケートをとおして授業改善を行う。	C	B	学校生活の中で最も大切な指導であるため、何を学ぶかを明確にして、生徒に考えさせる機会を増やしてもらいたい。 オープンスクールを見た時の印象では、特に実習の科目で工夫された授業が実践されているように感じられた。